令和６年度　埼玉県高等学校ＰＴＡ連合会
高校教育とＰＴＡ専門委員会研修会　参加報告

開催日：令和６年１１月１１日（月）

会　場：埼玉会館　小ホール

主　催：埼玉県高等学校ＰＴＡ連合会　高校教育とＰＴＡ専門委員会

参加者：山﨑・八坂・村岸・江﨑

【講演会】

講　師：埼玉県県民生活部国際課　主幹　　関根　なつき　様

『やさしい日本語と多文化共生の地域づくり』

埼玉県内には 166 の国と地域の人が暮らしている。外国人住民は全国５位で 23 万人を超え、今後もさらに増えると言われている。日本人住民と外国人住民がお互いの立場を理解し、安心して暮らすことのできる地域づくりに向けて、埼玉県では多文化共生の取組を推進している。身近な外国人と気軽にコミュニケーションをとるために難しい言葉を言い換えるなど相手に配慮した「やさしい日本語」を使う。「やさしい日本語」を話すうえで一番大切なことは相手の様子を見ながらコミュニケーションを楽しむことである。

【実践発表】

●東部支部…埼玉県立越谷総合技術高等学校『越谷総合技術高校 PTA の取組～高校教育と PTA～』
PTA は学校生活の充実、進路の実現に向け先生方と一体になって子どもたちを応援していく。

●西部支部…埼玉県立狭山清陵高等学校『狭山清陵高校 PTA 活動』
PTA 役員の活動がメリットとなるような仕組みにしていく。

●南部支部…埼玉県立岩槻高等学校『岩槻高校 PTA 活動～効果的な連携のための組織づくり～』
子どもたちの教育活動の充実に向け、今後も学校との連携の深化に向けた取組を進めていく。

●北部支部…埼玉県立熊谷商業高等学校『熊谷商業高校 PTA の取組～高校と連携した PTA 活動』
PTA・後援会・学校がチームとして一体となり、よりよい教育活動につながるように取組んでいく。

【講　評】

埼玉県教育局県立学校部保健体育課　主任指導主事　薬師寺　将二　様

●越谷総合技術高等学校⇒組織のスリム化を図り、PTA メンバーによって取組内容を変えていく方針が良い。

●狭山清陵高等学校⇒役員活動に消極的な社会情勢の中、PTA 活動を根本から見直そうとする姿勢はとてもすばらしい。

●岩槻高等学校⇒学校行事を支援するなど学校と連携した活動を行っているところが良い。

●熊谷商業高等学校⇒歴史と伝統を守る活動。PTA 役員が生徒の就職面接に関わっていることはすばらしい。

【所　感】

●講演会について⇒埼玉県の多文化共生推進プランを知り、今後私たちにできる外国人への理解・支援について考えていきたいと思いました。

●各支部実践発表について⇒コロナ禍で PTA 組織改革を行なった学校が多く、「子どもたちのために」「無理・負担の少ない・やりたいことをやる」組織作りに積極的に取り組んでいる姿勢に共感しました。

（文責　本部）